第○学年　○○科学習指導案

指導案の体裁は、朝来市の研究紀要に準じる

⇒Ａ４、明朝体、余白（上下3㎝、左右2.5㎝）

　１行の文字数39字、１ページ40行

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者T1　○○　○○

　 T2　○○　○○

記入例（ＭＳの場合）

　指導者

　学びのサポーター

１　日　時　　平成２７年７月１６日（木）第○校時

２　場　所　　〇年〇組教室（男○○名　女○○名　計○○名）

３　単元名　　「　　　　」

４　単元の目標

* 文末表現は、「～しようとする。」　　　　　　　　　　　　【関心・意欲・態度】
* 文末表現は、「～できる」　　　　　　　　　　　　　　【数学的な見方や考え方】
* 文末表現は、「～できる」　　　　　　　　　　　　　　【数学的な表現・処理】
* 文末表現は、「～する」　　　　　　　【数量、図形などについての知識・理解】

５　指導にあたって

本単元は、～（教材観）

単元に係る児童生徒の実態や課題について具体的に書く。

　～～～

　　本学級の児童・生徒は、～（児童・生徒観）

　～～～

・単元を厚生する小単位の名称を指導順序に従って書き、配当時間を明示する。

・簡潔に列挙し、本時の位置付を明確にする。

　　指導に当たっては、～（指導観）

　～～～

６　指導計画（全○時間）

　第１次　○○　・・・・・・・・・・・・・・・・・・○時間

　第２次　○○　・・・・・・・・・・・・・・・・・・○時間（本時○/○）

　第３次　○○　・・・・・・・・・・・・・・・・・・○時間

７　本時の学習

(1) 目　標

　　・〇〇〇

特定の商標名は使用しない。

　　・〇〇〇

教師の立場で書く。

(2) 準備物

　　　○○、○○、○○

(3) 展　開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動  児童生徒の立場で書く。 | 指導上の留意点  ○配慮点　■評価 | ＵＤの視点  （観点） | 個への手立て |
| １　～～～  留意点②  ＴＴによる指導の場合は、Ｔ１Ｔ2の役割を明確にして書く  留意点⑤  「指導上の留意点、ＵＤの視点・観点、個への手立て」が「学習活動」と関連づいていることが分かるようにする | ○～～～  留意点①  数字は、ＵＤの視点番号  言葉は『観点』で書く | ①  留意点④  **手立てを記入**する欄であることに留意。  ⇒例「～ができているか確認する。」「声かけをする」という表現では、どのような支援を行うかが明確ではない。  ⇒確認してどうするのか、どのような声かけをするのか  留意点③  指導者が複数の場合、だれが個への対応を行うかを明らかにする。 | ・1,3,6,（数字は半角） |

(4) 座席配置図

|  |
| --- |
| 教卓 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ |  | 36 | ３ |  |  |
|  | ２ |  |  |  | ４ |
|  |  |  |  | ５ |  |
|  |  | ６ |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

参考文献：兵庫県小野市立河合小学校平成２６年度研究協議会資料